

〒060-0808
 札幌市北区北8条西6丁目2-23-806
 TEL 011-594-8454
 FAX 011-594-8455
 URL <https://tomari816.com>
 E-mail info@tomari816.com
 郵便振替口座 02790-1-100850



原発のない安全な北海道に

HAIRO ニュース

第37回 法廷だより

コロナ禍で傍聴席は
 抽選となった

2021年11月16日午後2時00分より札幌地裁で、第37回口頭弁論期日が開かれました。コロナウィルス対策の環境で空席を確保しなければならぬため、傍聴者26名で抽選となりました。

今回の期日では、原告から準備書面(51)及び原告本人の居住地のリスト、被告から準備書面(24)が提出されました。

原告は準備書面(51)を提出し、あわせて提出した原告本人の居住地のリストに基づいて、原発から30km圏内と250km圏内に居住している原告本人の人数について主張しました。

被告は、準備書面(24)において、原告準備書面(50)に対する認否・反論を行いました。

原告意見陳述

原告の意見陳述は、原田宏二さんが行う予定でしたが、諸般の事情により実施できなくなりました

次回期日に向けた
 準備事項等

被告準備書面(24)に対しては、反論の要否を検討することになりました。

裁判所からは、核燃料の危険性及び廃炉に関する主張について尋ねられ、原告被告とも主張がひと段落したことが確認されました。

被告は、敷地内断層についての主張は令和4年2月に主張を提出する予定であること、その他の主張については審査会の進捗を踏まえて検討する旨述べましたが、裁判所からは、その他の主張についてどこまで待つかはその時点での裁判所の判断となる旨指摘されました。なお、原告準備書面(51)に対しては、特に反論しない見込みです。

今後の予定等

次回期日は、令和4年1月18日(火)午後2時00分から。次々回の期日は、令和4年3月16日(水)午後2時00分から。なお、次々回の期日について、裁判所は、実施するかどうかについては次回期日の状況も踏まえて検討する旨述べました。具体的危険が生じる原告の範囲や請求原因の整理などを行わせてきたことも考えると、今後裁判所の動向には注目を要します。

次回もたくさんの方に傍聴においでいただき、ともに廃炉への意志を表明していきましょ。

(文責) 佐々木泰平

お願い 住所変更された方は
 ご連絡をお願いします。

お引っ越しされて、郵便局へ転居届けを出していても、1年が経過すると転送されません。ハイロニュースなどの郵便物が戻って来ます。

お名前・新住所・電話番号を明記して

FAX 011-594-8455
info@tomari816.com まで

ご連絡をお願いします。

Vol.2

核ごみ最終処分の問題点

核ごみ問題担当世話人 マツコシ原美香

核ごみ(原発由来の放射性廃棄物)の処分問題を

社会的要件(法律・政策・経済)から考察する。

本稿では国が示す原子力政策と計画・方針に加え、前回、法律の稿で漏れた「特措法」について記す。

新エネルギー基本計画と原子力政策

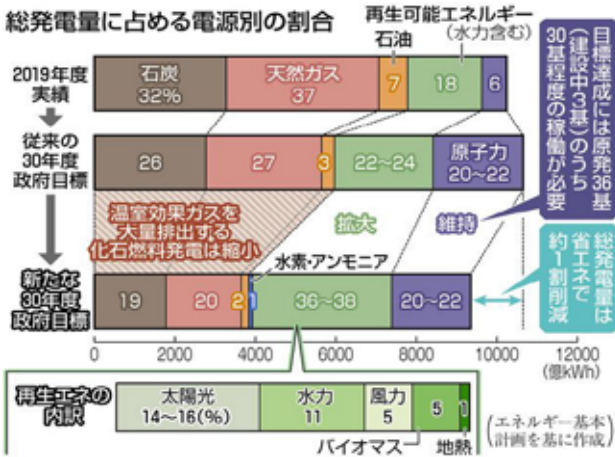
自民党総裁選前の主要争点のひとつとなった原子力政策について、河野太郎氏が「核ごみ処分のあり方を議論すべき」と核燃サイクルの見直しを訴えていたことが報じられていた。岸田文雄首相は10月8日の所信表明演説でエネルギー・環境政策について、温暖化対策とCO2削減目標を経済成長につなげるプラス面だけに言及し、新エネルギー計画で示された小型モジュール炉や溶解塩炉を含む革新的な原子炉開発や新増設の是非、核燃サイクル政策、再処理、プルサーマル(MOX燃料利用)の見直しなどには触れなかった。衆議院議員選挙(10月31日)の結果を待たず、「第6次エネ

ルギー基本計画」が閣議決定された。(10月22日)

※国民からの意見がどのように審議検討されたか、どの程度反映されたかあるいは反映しなかった理由や経緯の記録が明らかにされぬまま、案が「新計画」として成立。

国は2030年の電源構成で原子力の依存度を20-22%とし、現存する国内原発をフル稼働しなければ得られないような非現実的な目標値を掲げた。「原発依存度を可能な限り低減する」とした政府方針とは明らかに矛盾する。新計画では最優先課題として再生可能エネルギーが記されたものの、安全性、経済性、環境への影響、エネルギー安全保障の配慮に欠ける原子力を、「いまだ我が国が資源に乏しいため」という理由に拠り、ベースロード電源の一つとして維持することを示した。

第6次エネルギー基本計画



(参考:東京新聞)

再処理事業が原発のコストを天井知らずに高騰させている。これにより放射性廃棄物全般の処分が遅れる。結果として使用済核燃料が老朽化した原子力施設内で放置され続け、最終処分に至るまでのコスト計算もままならなくなることを懸念する。国は最終処分地選定手続きに前向きな態度であるものの、廃炉原燃から排出される膨大な量の放射性廃

原子炉等規制法では原発の運転期間を40年とし、一部電力会社は使用停止まで設置から最大60年の延長を匂わせている。むしろ老朽原発の廃炉を急ぎ進めていくことこそ

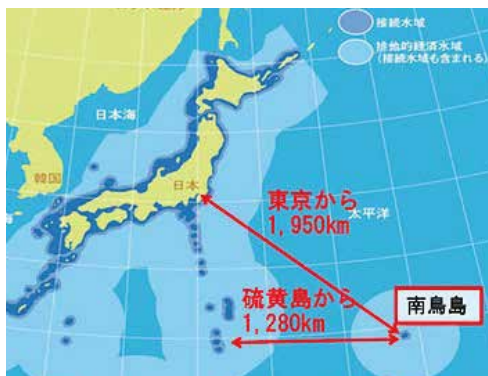
※原子力発電という巨大システムを維持したいが故に、公然と「再生可能エネルギー賦課金」を使用することは間違っている。原子力発電を太陽光、風力、波力、地熱エネルギーを利用したほかの発電技術と同じカテゴリーに分類することは、そぐわない。

再処理事業と最終処分・核ごみ減容化の行き詰まり

再処理事業が原発のコストを天井知らずに高騰させている。これにより放射性廃棄物全般の処分が遅れる。結果として使用済核燃料が老朽化した原子力施設内で放置され続け、最終処分に至るまでのコスト計算もままならなくなることを懸念する。国は最終処分地選定手続きに前向きな態度であるものの、廃炉原燃から排出される膨大な量の放射性廃棄物の処理・加工、中間貯蔵、使用済みMOX燃料の管理保管について、東電福島事故以前と比較して特段の改善を示していない。

再処理事業施設も巨大放射性廃棄物

原発の使用済み核燃料からプルトニウムなどを取り出す再処理工場(青森県六ヶ所村)の竣工が25回も見送られた。



※産産省は使用済みMOX燃料は300年程度稼働した原子力施設から動かさないことを一部認める発言をしている。北海道電力藤井社長は本年3月19日、プルサーマル計画は見直しを進めたい意向を述べた。
※②寿都町長選挙と同時期に国立研究開発法人海洋研究開発機構が、太平洋の南島島海底下の深地層で新たな技術の可能性を探る基礎的調査研究を行う検討していることが報道された。

日本原燃は、再処理工場などの稼働に必要な設備設計や工事計画の審査で耐震性を決める際に、10年以上前の地盤データを使っていたが、最新の計算で地震時の揺れは当初想定のおよそ1.4倍が算出された。

1993年に着工した再処理工場は2022年度稼働予定とされているが、経年見送られ続けている事業現場での担い手の力量不足が深刻な状況にあるため、規制委員会委員長は7月会見で「再稼働は難しい状態である」と述べた。

現在、使用済み核燃料の実際の貯蔵割合を示す「管理容量比」は国内14の原発で80%以上に達している。

※東海村再処理施設廃止行程が想定外に遅れている。使った以上のプルトニウムを生み出す夢のような計画だった高速増殖炉型炉もんじゅ(福井県)も廃炉で頓挫した。放射性廃棄物の有害度を下げる高速炉の開発に転換したが、実用化のめどが立たない。ガラス固化体(高レベル放射性廃棄物)が出来上がらなければ、核ごみ深地層処分も計画通りには進まない。

廃棄物関連法の併用

乱用を危惧／北海道における放射性複合汚染物公害問題

北海道沿岸域自治体にとつて深刻な前例となり得る室蘭市への一部放射性廃棄物を含む高濃度PCB廃棄物の受け

入れ(JESCOポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業)について、環境省は11月23日の住民説明会において、福島県汚染廃棄物対策地域(元の帰還困難区域等)から室蘭市へのPCB搬入物は、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法(以下「放射性物質汚染対処特措法」と略す)を使つた処分であることを明らかにした。「放射性物質汚染対処特措法」は、「原発事故によって生じた8000ベクレル/kg以下のクリアランスレベルの放射性汚染物を一般ゴミと同様に移送、加工、廃棄することができる」とするものであり、これまでの規制の80倍甘い基準決定(閾値上方修正)による破格の規制緩和)。「放射性物質汚染対処特措法」を適用するほか、PCB特措法、ダイオキシン対策別措置法の併用もしようという事業内容を、国(環境省)がコロナ禍で感染防止対策、人数制限した説明会で解説した。11月24日の検討委員会(JESCOポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会)では、議長が「違法状態でないか」と念押しの確認発言をしている。



※放射性物質は公害物質として国が規制対象と認めているため、安易に発生場所以外に拡散することは違法とする解釈可能性がある。道内への汚染物質持ち込み、研究調査事業などで法の併用、乱用が懸念される。

出典・参考

第6次エネルギー基本計画(令和三年十月二十二日閣議決定)／原子炉等規制法 第五十一条の二(第一項第一号(昭和三十三年法律第六十六号)施行日:令和三年七月一日/令和三年五月二十二号による改正)

核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の第二種廃棄物埋設の事業に関する規則 第一条の二(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令 第三十一条 過密貯蔵の進む日本の原発と乾式貯蔵) 危険な稠密貯蔵の実態分析東洋経済オンライン(松久保肇(原子力資料情報室)田窪雅文(ウエブサイト)核情報)／「6次エネルギー基本計画(案)の評価点と問題点」 高橋 洋 都留文科大学 教授／「MOX燃料輸送に抗議する」原子力資料情報室(2021.11)／「プルトニウム」原子力の夢の燃料が悪夢に(田窪雅文、カン・ジョンミン)／緑風出版(2021年10月21日初版第一発行)

※社会科学者の知見から観る、核ごみ最終処分場の問題点③経済に続く

「福島カレンダー」をめぐる

カレンダーをめくると原発に抗議行動をするおばちゃんやライブのおつちゃん、原発ゲート前に座り込む人、シートに覆われた放射性廃棄物の中間貯蔵施設、沖縄で米軍跡地に残留する不発弾で描いたSOSの文字、一見のどかに見える希望の牧場の牛たち。

制作チームからのメッセージには、甲状腺がんは学校検診で見えなかった子どもがほとんどだったにもかかわらず学校での集団検診が見直される、とある。甲状腺がんは今も増え続けている。東京電力は強い反対と抗議にもかかわらず2051年まで一日最大50万リットルの汚染水放出をしようとしている、とも。

子どもたちを連れて網走に避難してきたえりさんと出会ってから随分たった。何度も話を聞く機会があった。重すぎて逃げ出したいくなるような当事者の声。カレンダーの最後のページに自家発電、自転車の旅、安心できる食、空気、水、と自然との循環をめざしている暮らしのえりさんのメッセージ。力強い。読んでほしい。

2022年、壁にかけたこのカレンダーを見ながら、私は何を知っているのだろう、何をしたいのかわからない。うと問い続けることになる。でもね、なぜか希望の光が見えるカレンダー。明るいのが不思議。重いテーマなのに。

くちご妙 (原告)



詩集

「あの日から」 曳地奈穂子

自選一篇「改札」

なきじやくり首にしがみつく息子と
涙をこらえ俯く娘を振り切つてくぐる改札
夫はそれが辛くて耐えられない
次回からは駐車場で別れようと言った

お気に入りのDVDを再生し見せながら
駐車場に車を入れわきに止める
助手席の夫が荷物を持ちそつと降り
子供たちに元気よく「またくるね!」と
声をかけ

子供たちもつられて「またきてね!」と
笑顔で手を振る
充血した目で私をみつめる夫の
もう行つてという合図に無言で領ぎ
私は駐車場を回り出口へ車を走らせる
子供たちはまたDVDの世界に戻る
ミラー越しに見る夫は
一人降車場で立ちつくし

私たちの車をずっと見送っていた
もう行つてと私も心の中でつぶやく
そしてあなたは一人改札に向かい
切符を入れまた福島へ戻る
振り向かず
重い荷物を肩から下げて
一人エスカレーターを登ってゆく

どの詩も読むとその当時の苦しい思いが思い出され、辛くて目をそむけたくなります。「改札」もリアルな実話で、今でもこれを読むと旭川駅に佇む夫を思い出し、胸が苦しくなります。

3・11から今に至る思い

私たち一家は福島県郡山市で、家族4人+猫1匹でマンションに住んでいました。遅まきながら子供も二人授かり、車で一時間の距離に住む夫の両親ともつかず離れずのよい関係で、毎日幸せな日々を過ごしていました。

そんな幸せな日々が、東日本大震災で崩れ去りました。マンションの給水タンクが破損し水が出なくなり、避難所、友人宅、夫の実家と点々としながら、ぐちゃぐちゃになったマンションの部屋を片付けしました。そんな中、東京電力福島第一原子力発電所がとんでもないことになりました。

結局、マンションの水がでないこともあり、仕事を休めない夫を置いて子供と猫を連れとりあえず実家へ避難しました。しかし、落ち着いてから原発事故

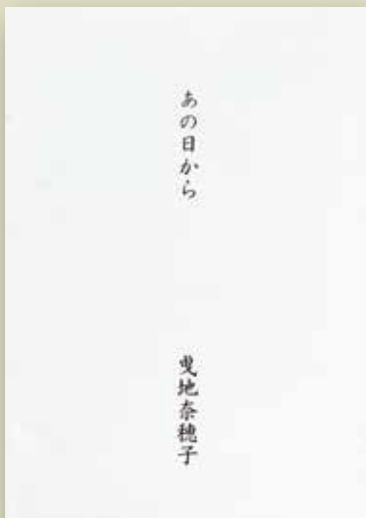
による放射性物質の影響を調べれば調べるほど、今戻って子供に健康被害がないかが心配になってきて、戻って大丈夫とは判断できず、結局ずっとそのまま旭川に住み続けることになり、今に至ります。

夫は月に一度のペースで福島と旭川を行き来し、会えない時は電話やパソコンで話をしました。そんな生活は3年以上も続きました。

結局夫が折れて北海道へ移住することになりました。その当時はやっと家族で暮らせる、と嬉しかったのですが、10年たった今現在、年老いた夫の両親のことを思うと、この先どうした

らよいのがわからなくなってきました。今元氣だけれども、この先は？親思いの夫の心中を思うと、自分の選択は間違いだっただろうか…。と、原発事故さえなければ、こんな悩みがなかったのに!と、今更どうしようもないですが、そういう思いに駆られます。

詩集「あの日から」のあとがきに、これらの詩が、原発の存在の功罪を考えるきっかけになれば、と書きました。その思いは今でも変わりません。こんな苦しみ、誰にも味わわせたくない。次世代にも持ち込みたくないと思っています。



詩集「あの日から」

■取扱い先

「こども富貴堂」TEL:0166-25-3169

●曳地 奈穂子プロフィール

1972年北海道旭川市生まれ。小・中・高と旭川市。大学は帯広市で、弓道部で福島県出身の夫と出会う。卒業後お互い地元で暮らしていたが、2000年に結婚。2007年待望の第一子、長女出産。2010年にはまさかの第二子、長男出産。

住民引き裂く核ゴミ問題

「寿都町長選の結果」と11月13日核ゴミ問題を考える北海道会議inさっぽろ

事務局 加藤 浩道

寿都町長選と町議補選

核ゴミ問題を最大の争点とした寿都町長選が10月26日に実施されたが結果は核ゴミ文献調査賛成の片岡春雄氏が1135票で900票を得た核ゴミ反対の新人越前谷由樹氏に235票差で当選を決めた。しかし同日の町議補選では核ゴミ反対派が1121票、核ゴミ賛成派は884票と237票差で逆転して当選している。

町長選における大きな疑惑

また、町長選で公選法に違反する「代理投票や施設利用者が投票先を誘導された」として核ゴミ反対派が町選管に異議申し出て受理されている。さらに期日前投票率が衆院選より町長選の方が16%も高かったという点でも投票誘導への疑惑が指摘されている。その疑惑を票に換算すると325票、400票にもなる。そもそもこの問題は片岡町長が極秘で数年前から経産省と話を進め、町民の賛否を問うことなく突然文献調査を受け入れてしまったことに始まる。

税金を悪用した狡猾な手法

それは2007年四国東洋町での核ゴミ受け入れさせるのに失敗したことを「反省」した経産省が、交付金を東洋町での年2億円から寿都町では10億円と5倍に「値上げ」、町民には検討するための十分な時間を与えず間髪いれず文献調査受け入れを町長に決めさせたこと、現在すでに5億円分がごみ処理や消防署関連に申請済み等、町民に美味い思いを振り撒きながら来年秋の住民投票への狡猾なたくらみがみとれる。



カネが自然かを選ばせる

これからみて核ゴミ問題は財政難に苦しむ地方に巨額交付金という「あめ」をぶら下げたの強制であり本質的解決には全くならず「濡れ手で粟のカネは欲しい」と町民と「寿都を核ゴミで汚したくない」と町民とに引き裂かれ分断が深まるばかりである。

核ゴミ問題は全国民の問題

「核ゴミ問題を考える北海道会議inさっぽろ」は11月13日開催。会場には200名程の参加者でほぼつまり熱気に溢れていた。市川弁護士は「特定放射性廃棄物処分法」には三つの大きな問題点があると指摘。核ゴミは全体に関わるのに町村の判断に委ねている。ほとんどまともな議論もせず地層処分を前提にしている。核ゴミ処分の適地は何も示されていない。とした上でこの法律の廃止を主張した。

自主避難者の声

会場からは福島から自主避難した穴戸さんが「核ゴミを受け入れたらおしまい、事故がおきたら全てを失う、核ゴミを自分の庭先に埋めさせられたらという視点で考えるべき」と訴えた。

引き裂かれた寿都町民の声

寿都町から参加した子育て



世代の女性の涙ながらの発言はまさに隣人が敵味方となり家庭内でも親子、夫婦がいがいあい、対立し引き裂かれていく実態を明らかにしてくれた。

Aさん 「声を上げるのは止めると、親や夫から言われた。でも話したことで応援してくれているとは思って、寿都の人は声を出せない、出さない」

Bさん 「息子が「核ゴミどうなったの?」と聞いてきた、小さな子どもにまでも不安にさせているのかと思うといたたまれない、しかも片岡町長が勝ったのでその町長のもとでやっていくのはつらい」

Cさん 「核ゴミは子どもには残せないと活動してきた、町は静かで賛否は分からず寿都から札幌に来るのは恥ずかしく嫌な感じがした。(会場内から)「恥ずかしくなんかな

い!」この大きな声あり)選挙は絶対勝ると頑張ったが今回はダメだったが900人の応援してくれているのがわかり選挙には負けなければ闘いには勝ったと思う。これからも頑張っていきたい」

これからの闘いに向けて

なぜ隣人どうしが賛成派と反対派に別れ憎しみあわなければならぬのか、なぜ家庭にまで対立が持ち込まれてしまったのか。「核ゴミの問題」さえこなければ今まで通りに暮らしていたはずなのに町をまさに二分する大きな問題を背負わせた政府経産省、電力会社の責任は重大だ。これからも己れの利権のためになりふりかまわずあらゆる手段を使って住民を苦しめ続けていくことは容易に想像できる。

60倍もの核ゴミが寿都に

この問題は寿都町や神恵内村だけの問題ではなく全国民の問題として「脱原発の活動は辛抱強く続けなければならぬ」との考えのもと、「自然がいっぱい北海道、食の宝庫北海道」に泊原発の60倍もの核ゴミを全国から持ってこさせたらダメだ。未来の子どもたちにも今後10万年も核ゴミの危険にさらし、管理を任せずには今の親世代はあまりにも無責任だと思つた。

「映像資料に学ぶ原子力とキノコ雲」がスタート

第1回「ゴジラ」

「映像資料に学ぶ原子力とキノコ雲」の第一回上映会が11月14日エルプラザ「消費者サロン」で午後2時から行われました。

参加者は「ハイロニューズ」を見て申し込みをされた会員3名と事務局員3名の6名でした。感染対策で皆さんマスクをして窓とドアを開け換気をしました。「ゴジラ」は1954年東宝製作の白黒映画でゴジラシリーズの第一作です。



▶5万ボルトの電流が流れる鉄条網にもビクともしないゴジラ



▲エルプラザ消費者サロン

この年の春、南太平洋のピキニ環礁で米国が行った水爆実験でマグロ漁船・第五福竜丸など多くの漁船が放射性物質の「死の灰」を浴びました。そして秋、海底の洞窟に潜んでいたジュラ紀の怪獣「ゴジラ」が度重なる水爆実験で安住の地を追われ、東京に上陸して鉄塔を踏み倒し口から火を噴き街を焼き尽くします。大砲や爆撃機で応戦しますが「ゴジラ」はビクともしません。私には「武力では解決出来ない」と言っているように思えました。一人の科学者の犠牲で「ゴジラ」を倒しますが「水爆実験を続けているとまた世界のどこかに「ゴジラ」が現れる。」と言って映画は終わります。

(事務局 上出 晶子)

第2回上映会
10万年後の安全

フィンランドに世界初の高レベル放射性廃棄物の処分場建設が決定された。固い岩を削り地下400メートルに建設されるその施設は、10万間の保持が可能だという。しかし、裏を返せば10万年後まで放射性廃棄物が残るといふことに危惧を抱いたドキュメンタリー作家のマイケル・マドセンは、10万年後の人々にその安全性を伝えることができるのかを検証するため、建設中の調査施設に潜入する。



(2009年製作/75分 原題:Into Eternity)

※上映会場が小さいため参加ご希望の方は必ず事前に連絡を下さい。

問い合わせ先 Tel 090-8370-4610

Email hirotani@ceres.ocn.ne.jp (廣谷)

釧路地域連絡会

報告会のお知らせ

日時 2022(令和4)年1月20日
午後1時~

会場 市民活動センターわっと
会議室3
釧路市末広町3丁目1
TEL:0154-22-2232

泊原発の廃炉をめざす会代表・弁護団長の市川守弘さんが裁判や今後の見通しなどについて報告します。

会場の人数制限のため、参加希望の方は090-9436-8632へ

※尚、釧路地域連絡会会員【賛同者・原告】のみオンライン参加を申し受けます。

emika69@ahoo.co.jp マシオン世話人までメールでご連絡、お問合せください。感染防止のため、お越しの際はマスクを御着用ください。

2022年3月12日(土)講演会のお知らせ

~原発を動かさない・核ゴミは持ち込ませない~
フクシマから11年、原発と核ゴミを考える3.12集会

青木美希さん講演会



北海道が地図から消される日 福島、そして泊・寿都・神恵内

福島第一原発事故から11年目の今、原発再稼働への動きは止まっていません。そして2020年、寿都町と神恵内村で核のゴミの最終処分場選定に向けた文献調査を受け入れ、2022年11月17日には原子力発電環境整備機構(NUMO)による文献調査期間の2年間で終了します。私たちは文献調査に反対し、概要調査に進むことも認めません。泊原発の再稼働を許さず、核のゴミを持ち込ませないために、一緒に考えていきたいと思ひます。

オンラインの参加も可能です。

日時 2022年3月12日(土)
開場14:00~ 開会14:30~

会場 北海道自治労会館
4階ホール
札幌市北区北6条西7丁目

参加費 1,000円(事前予約不要)

次回口頭弁論

2022年1月18日(火) 14:00~
札幌地裁 (札幌市中央区大通西11丁目)

傍聴抽選 ~13:30 札幌地裁

報告会 口頭弁論終了後~16:00

会場 北海道高等学校教職員センター
(札幌市中央区大通西12丁目)